

はじめてのクラシック

Introduction to Classical Music

A

2023, DECEMBER

[第2000回]



“世界のすべて”を内包する巨大交響曲

# グスタフ・マーラー

Gustav Mahler (1860–1911)

マーラーは大人気指揮者にして、当時の音楽シーンを牽引する作曲家だった。19世紀末から20世紀はじめ、ウィーンを中心に活躍し、「交響曲はひとつの世界のようなものである。そこにはすべてが含まれていなければならないのだ」と、その理念を語ったという。“世界のすべて”を表現するため、彼の交響曲は長大になり、楽器編成も巨大化する。その頂点ともいえるべき《一千人の交響曲》が奏でられるとき、あなたの目の前にはどんな世界が広がるだろうか。



渋谷から鳴動する大宇宙を震わす響き  
指揮者ルイーダと、マーラーが……重なる!  
イラストレーション: ©IKE

## 第2000回定期公演

1927年にはじまったN響の定期公演。ひとつひとつ公演を重ねて1986年には第1000回を迎え、ルイーダの師であるサヴァリッシュの指揮でメンデルスゾーン《エリア》が演奏された。そして今回、第2000回の定期公演の演目は、ファン投票で選ばれた《一千人の交響曲》。記念すべき節目でNHKホールに響くマーラーの超大作は、N響の新たな一歩を後押ししてくれることだろう。